

ともに生きていく



“他者” への思いやりの心を育みます

一緒に過ごすのが「あたりまえ」で、自然に接している子どもたちですが、その中でも、発達段階に合わせて、教師からの適切なアドバイスや自分たちの関わり方を振り返る機会が必要です。「こころ」（道徳）の中に位置づけられる『ともに生きていく』の授業では、CDE組の先生がAB組の児童に対して年3回の授業を行います。

6年間の子どもたちの心の成長を皆で見守っていきます。

各学年の指導目標

1年	・お互いを知る ・仲間意識を持つ
2年	・お互いの良いところを知る
3年	・お互いを認め合う ・障害のある人の暮らしを知る（車椅子体験など）
4年	・「個性」を理解する ・障害をもった人々の理解
5年	・関わり合い方を考える （日々の学校生活の中で何ができるか）
6年	・個性を認め合い、助け合いながら生きていくことの大切さを知る ・学年内の友達意識を高め、みんなで一緒に卒業していく気持ちを持つ

「ともに生きていく」の授業 6年生の感想より

自分たちの普通がみんなの普通になれば良いと思います。

CDE組の友達とたくさん関わって仲を深めること…高校、大学、社会に出ても今のような経験はできないと思います。

東小学校で、誰もが皆同じなかまであるということを学びました。うまくいかないこともたくさんありますが、それこそがよいのだと思います。これからたくさんの価値観や考え方を持つ人と出会っていくと思いますが、私は東小学校で学んだことを活かしていきます。

心をひとつに

体育祭 学年競技

1年生



ゴーゴートレインリレー

2年生



やさしくはこんで

ペアになって競技！

3年生



台風の目

4年生



大玉ころがし

結果だけじゃない、本番までの過程を大切にしています

5年生



#で はこんで

6年生



まわして跳んで

A～E組みんなで楽しむ

学年活動

みんなで遊ぶ。やっぱり一緒に楽しい。



時には子どもたちが企画。

クラスの枠を超えてみんなで楽しめる活動って…？

SDGs、ダイバーシティ、ウェルビーイング、ユニバーサルデザイン、バリアフリー…
これからの時代において注目すべき様々なキーワードがありますが、そのヒントが武蔵野東
小学校の生活には詰まっています。色々な価値観や個性を持つ人々の気持ちを、他人事では
なく、自分事として考えられる環境。

この6年間で、心の中にぶれない軸ができたと振り返る卒業生も多いです。



優しい社会が広がっています

学校生活



朝の会



休み時間



※コロナ禍により休止中

交流給食



縦割り清掃



※コロナ禍により休止中
学年清掃に代えています

沖縄学習



授業への参加



ちょうどよく、居心地のよい関わりを目指して



子どもたちは、他者と共に生活していく上で身につけるべきことを自分のクラスでしっかりと学び、クラスの垣根を超えた関わりに繋げていきます。一人ひとりが学校生活を楽しみ、自然体でいることで、混合教育の環境が整います。

友達として、違いを認め合いながら、お互いに成長し、みんなでいることが楽しい、素晴らしい、ということを日々の関わり合いで実感していきます。